

「私の旅 et cetera」

車の回送を業としながらの
本州・四国をめぐる旅

市川市立第二中学校 14 期

鈴木 尚賢

私は、1995年から2020年までの四半世紀、車の回送業（乗用車からトラックまで何でも運ぶ仕事）をしていました。そんな関係で、本州を中心に四国まで、長い距離では1,000 km程を一気に（と言っても途中で車中泊をしますが）走っておりまして、その道々で写真を撮るのが趣味でした。お気に召すかはわかりませんが、よろしかったら一緒に旅してみませんか？

ここから始まりました。伊東市の丸山公園です



仕事を始めて1~2年後、小さなカメラを買い込み持ち歩くようになって最初の一枚です。

伊東市の丸山公園という所で時間待ちの合間にパチリ。

このアオサギ君は何度も魚を狙いましたが結局捕まえられませんでした。

そして奥多摩湖



左右と下の写真は奥多摩湖です。初秋の風景を撮りました。
この日は丹波山（たばやま）村から塩山を抜け甲府方面までの仕事です。



こちらは諏訪湖、中央自動車道の諏訪湖サービスエリアから紅葉と一緒におさめました。
東京を早朝に出発、松本までの仕事の途中でお昼を食べました。



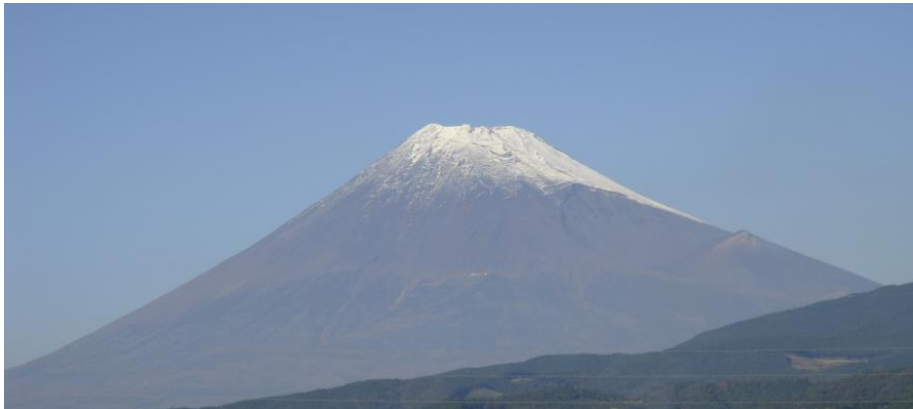
川中島あたりだったと思いますが、上信越自動車道のサービスエリアです。
車中泊の翌朝、アルプスの山々の奥にはすっかり雪をかぶった常念岳（？）が・・・。
この景色はとても気に入ってます。我が家のPCモニターの背景画面にしてあります。



私は山の景色がとても好きです。旅のあちこちで富士山に巡り合うと、清々しい気持ちになります。埼玉県浦和市（合併前です）郊外荒川の橋を川越方面に渡るところです。

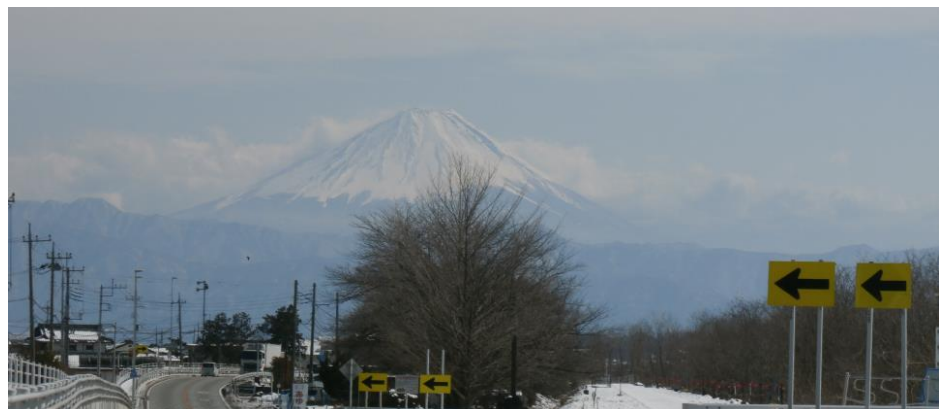


「大菩薩峠」富士見茶屋から、絶好の撮影スポットです



東名高速の須走サービスエリアだったと思います
が・・・？
右中腹のえぐれた様な所が
「宝永火口」です。

中央本線沿いの町、南アルプス市あたりだったでしょうか？



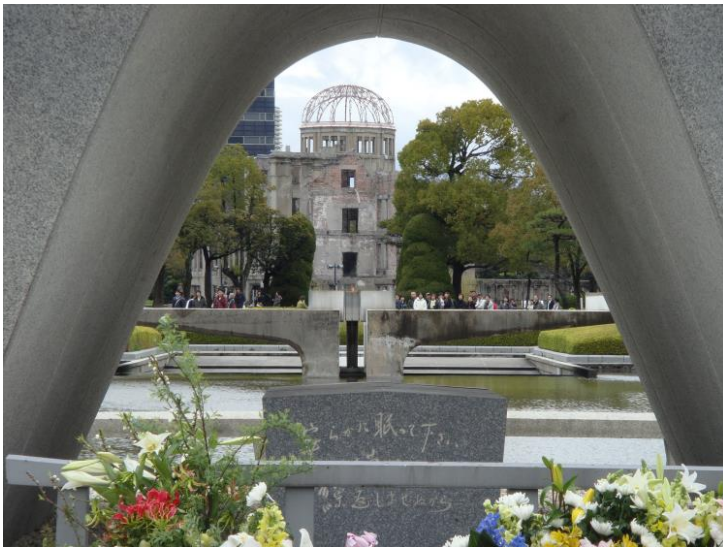
市川の我が家の屋上から、目いっぱい望遠で撮りました。



これはちょっと見慣れないものです。よく見てください、歩道の上に「北緯38度線」と表示してあります。どこにあるかは秘密です、探して見てください。

突然ですが広島です。

原爆記念公園に行きました。「平和の塔」から「原爆ドーム」を覗きました。公園内にはいたるところに平和を願って何千羽もの折り鶴がおかれていました。何時でしたか、この折り鶴を燃やしてしまった輩がいました。自分の思いを言葉で表すのは自由ですし、尊重されなければいけません、卑怯卑劣な手段で行動することは許されません。私は「二度と核兵器の惨害を起こしてはならない」と思いました。



◎◎廿日市市に来ました。瀬戸の向こうには「安芸の宮島」があります。せっかくですから渡ってみました。



瀬戸を渡る「雁がね」が優雅でした。(連絡船上から)

巖島神社



巖島神社の大鳥居



こちらは神社の中から

干潮でした。神社の床板は大潮など潮位が高い時は浮き上がる構造になっているそうです。島に上がると鹿の群れに襲われました、ここの鹿は、奈良の鹿のようにきれいではありません。そしてこれは何処も同じですが、しつこく付き纏われました。



この船が連絡フェリー「みやじま丸」です。確かこの日の連絡船はこの便が最後という事でした。乗り遅れると大変、急いで乗り込みました。

今度は千葉県銚子市です。ご存知「銚子電鉄」のマッチ箱電車です。



「本当に、よくまあ、あちこち行くんですねえ」

「そうなんです、飯の為ならどこにでも行きます」という訳で・・・。

ここは葛飾区綾瀬の区立公園、あやめ祭りの真っ最中。

地元の方々が自慢のあやめを出展していたり、専門の方が

それぞれ独特の呼び名のついた品種を栽培・展示しています。

数十の品種があるようですが、「花心」が乏しい私には

どれもみてもみな同じようにみえてしまいました。



「なんで、こんなに写真が撮れるんですか？」って・・・。「暇なんです」

そうです。車を引き取るにしても納車するにしても、お客様の指定のお時間でなければなりません。ですから、指定の時間より早く現地についてしまったら、お約束の時間まで待機しなければなりません。

こうした時に私は、見知らぬ場所を探検します。

列車の都合で指定の時間より相当早く現地に着いてしまったときなど、見知らぬところを徘徊するのです。そうすると、思いもかけない景色が見つかりますから、そこでパチリなのです。

ここは越後の国、柏崎市の海岸公園砂浜です。日本海の向こうは外国です。





湯野上温泉駅・・・私が「駅」に興味を持った初めの駅です。

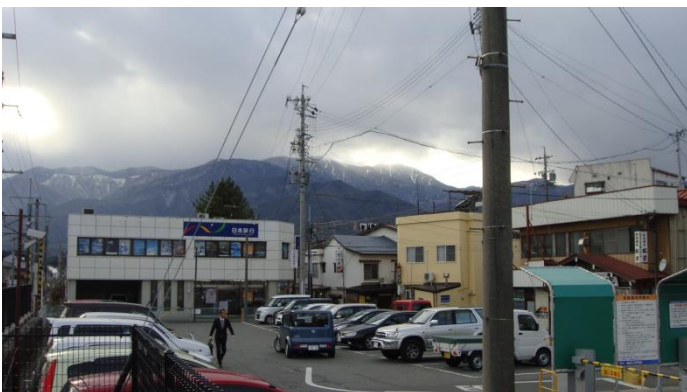
JR 新宿から東武電車のスペーシアが直通運転をしています。終点の鬼怒川温泉駅で野岩鉄道の会津鬼怒川線に乗換えてトンネルだらけの線路を走る事およそ3時間、「湯野上温泉駅」につきました。

この駅は全国的にも稀な茅葺屋根の家をそのまま駅舎にしています。待合室には囲炉裏もありました。雪の中会津若松までゆく途中でしたが、ここの民宿に一泊、翌朝、再び会津に向かいました。「湯野上温泉駅」のプラットフォーム「会津若松」行きの列車で「野口英世とお母さん」のラッピングです。



JR 内房線木更津駅から亀山湖や温泉のある観光地「上総亀山駅」という終点まで久留里線が走っています。丁度その真ん中あたりに、久留里駅があります。久留里城と清水が有名です。

千葉県では珍しく、瀟洒な町構えです。



温泉宿の掘削穿メンテナンスという専門業者の特殊車両を運びました。温泉でゆっくり一泊の後、JR 飯田線「伊那市駅」から列車に乗って東京に帰ります。列車は2時間に1本くらい。駅前から御嶽山方向を望みました。

海士有木駅



また千葉県に戻りました。JR 五井駅から「小湊鉄道」というローカル私鉄が「上総中野」まで走っています。最近では首都圏という近場でローカル色豊かな風景と車両が撮れるなどと「撮り鉄君」たちに人気の様です。「海士有木駅」（写真右、暗いので読みにくいかもしれませんが）この駅名は何と読みますか？

「カイシュウボク」(?) 違います。千葉にお住まいの方はご存知「アマアリキ」とよみます。

北飯山駅



上越新幹線長野駅から「北しなの線」と「飯山線」を乗り継いでおよそ1時間、「飯山線」は長野駅から新潟県の「越後川口」まで山合を縫うように走っています。その山合に向かう少し前に「北飯山駅」があります。ちろん無人駅でとてもものどかなところでした。



また千葉県に戻りました。

総武本線の「猿田」（さるた）駅は無人駅です。写真左の建物が駅舎ですが改札はありません。駅前を右におよそ1kmほど行くと線路をまたいで参道があり、「猿田彦神社」があります。でも、参詣人は見当たりません。

「猿田駅」駅舎とホームはしっかりありますが、「人っ子一人いない」の形容がピッタリの場所でした。



東北本線北上駅から奥羽本線横手駅を結ぶ「北上線」の半ば位のところにある「和賀仙人（わがせんにん）駅」。この日は千葉から東北自動車道を使い北上江釣子インターまで行き、国道107号線で秋田県由利本荘市まで約700kmのロングドライブでした。時間に余裕がありましたので、思い出深い町を訪ねて走りました。

「和賀仙人」というところは、私が芝居をやっていたところに民俗芸能の「鬼剣舞」取材で逗留したことがあります。何にもない山村でしたが、村人たちはとても親切で暖かく我々一行を迎えてくれました。



ちょっとピンぼけですが、中央線甲府駅から東海道線富士駅を結ぶ身延線の身延駅と駅前ロータリーです。ローカルな町ですが、有名な日蓮宗総本山の身延山久遠寺がありますので、駅前には客待ちのタクシーなどで、にぎやかでした。



漢字表記なけれどちょっと下車したくなります



風変わりな駅舎ですね



前橋市と桐生市を結ぶ上毛電鉄ですが、どちらもJR線とは繋がっていません。その終点「西桐生駅」、入口の看板には右から左に書いてあります。



東北本線子牛田駅と奥羽本線南新庄駅の間を走る「奥の細道湯けむりライン」の宮城県側、山形県境近くにある「鳴子温泉駅」昔は繁華な町でした。



東北本線「仙台駅」と奥羽本線「山形駅」を結ぶ「仙山線」山寺（立石寺）への入口として名高い「山寺駅」です。駅前のポストが昔を懐かしんでいます。



「ふるくち駅」あまり馴染みはないでしょうが、奥羽本線新庄駅と羽越本線余目（あまるめ）駅間の「奥の細道最上ライン」中程にある無人の駅です。名もない駅ですが、ポストはハイカラ。



羽越本線で新潟から秋田に向かい村上を超すと、まもなく山形県です。ここは「あつみ温泉」駅(山形県鶴岡市)、この辺りは日本海沿いに走り、運がよければ海に沈む夕陽がみられます。

木更津駅前広場

「ショショ証城寺～」タヌキばやしで有名な証城寺が近くにあるJR 木更津駅前広場です。この駅の近くには「お富さん」で名を馳せた「切られ与三郎」のお墓（光明寺）もあります。



羽越本線象潟駅(きさかたえき)
ところ変わって、羽越本線「象潟（きさかた）駅」です。
松尾芭蕉の「おくのほそ道」に登場する
「松島は笑うがごとく、象潟は恨むがごとく」と詠んだ象潟です。
(秋田県にかほ市)

JR 苫小牧駅

ついに「津軽海峡」を渡りました。ここはJR室蘭本線の「苫小牧駅」です。



新幹線・大曲駅

先日届けたトラックの引き取りで新幹線大曲駅に到着



この秋田新幹線「こまち」に乗ってきました。



駅では素敵な「あきたびじん」が
出迎えてくれました。



新幹線が停まる駅ですが駅前は閑散と・・・



そしてこの車を運転して千葉県まで帰ります。

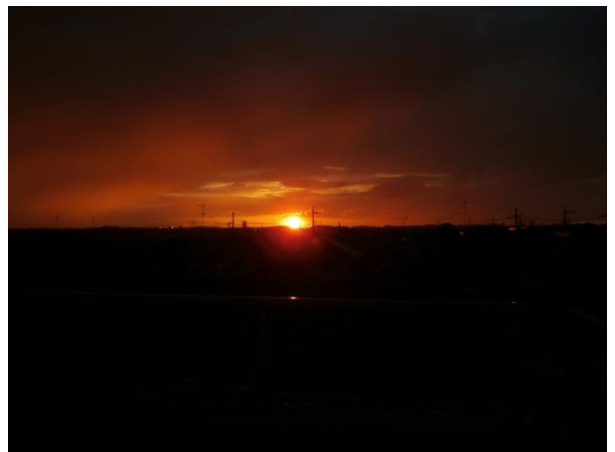
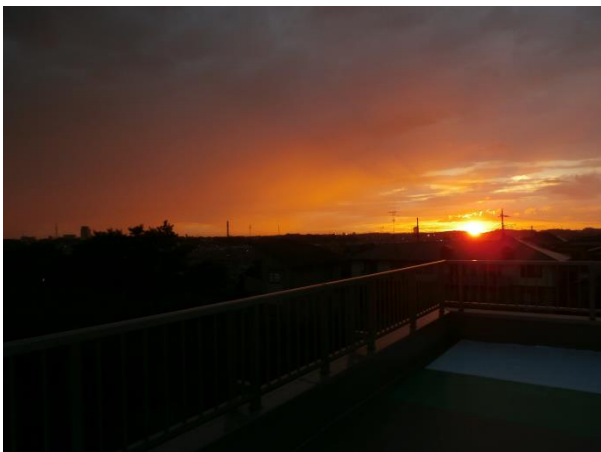
車をご紹介しましたので、ついでに車を紹介しますと・・・

いろいろな車を運転しますが、こんな車も運転しますよ。



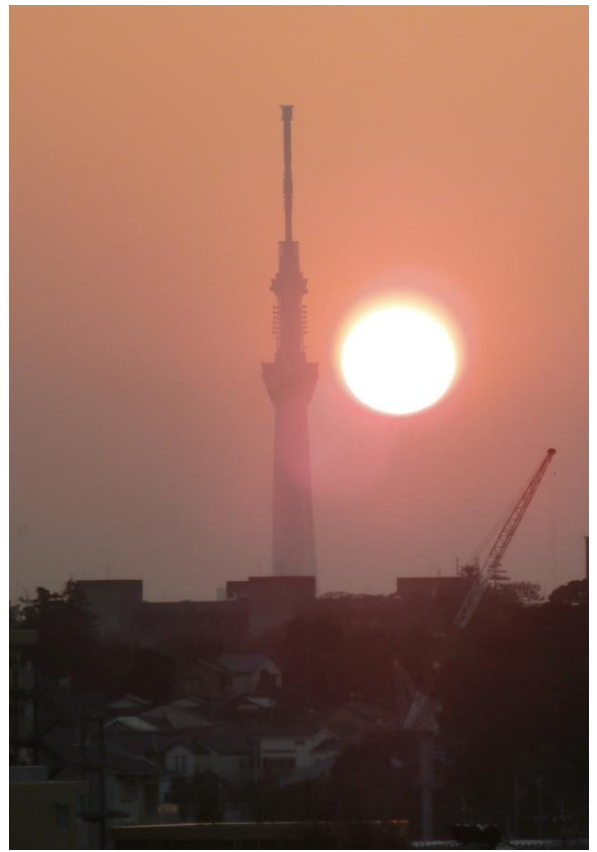
夕陽七題

自宅屋上で夕日が沈むまで連続で撮りました。



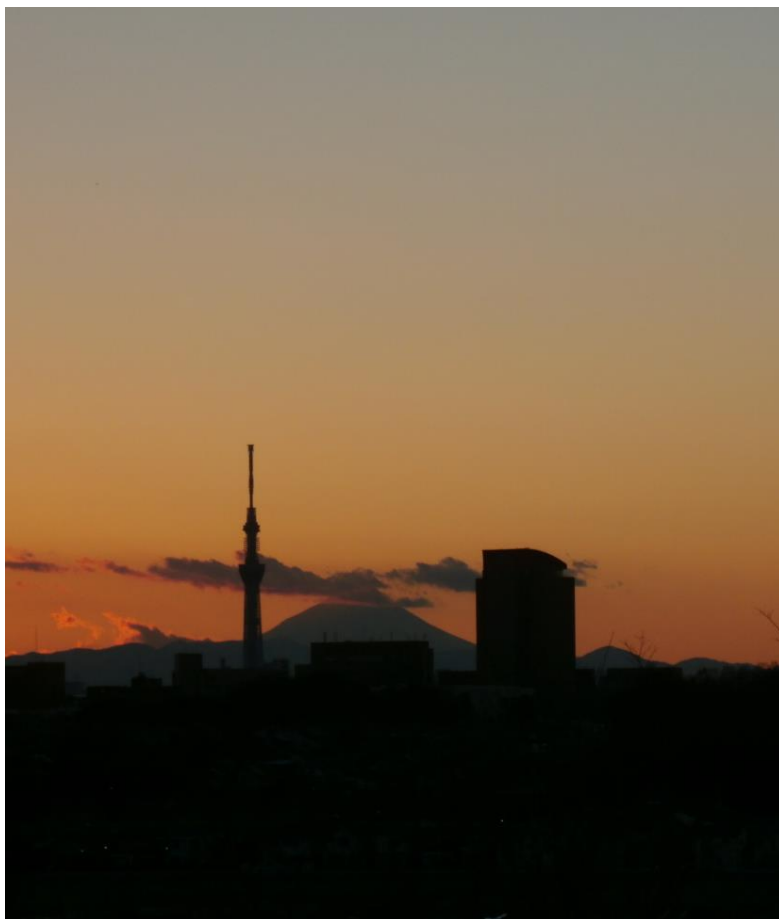


我が家屋上から初日の出です

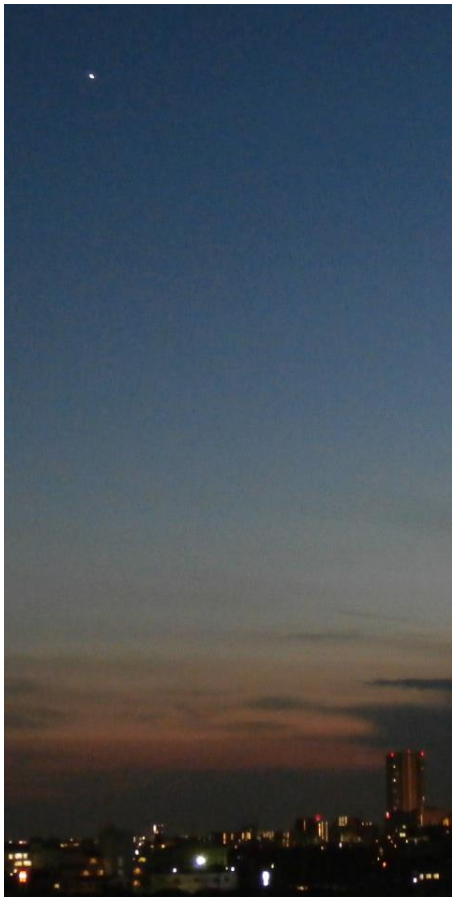
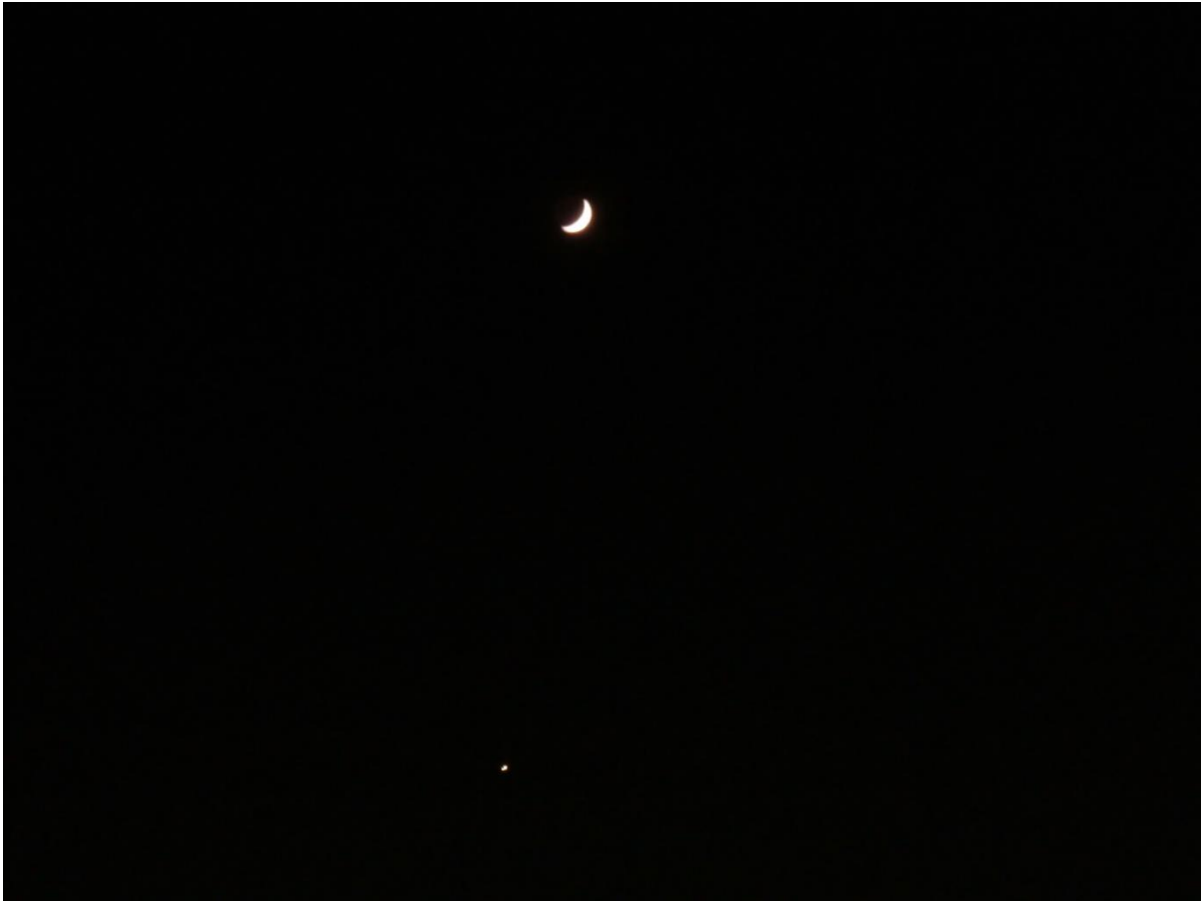


同じく我が家屋上から
「スカイツリー」に沈む夕日

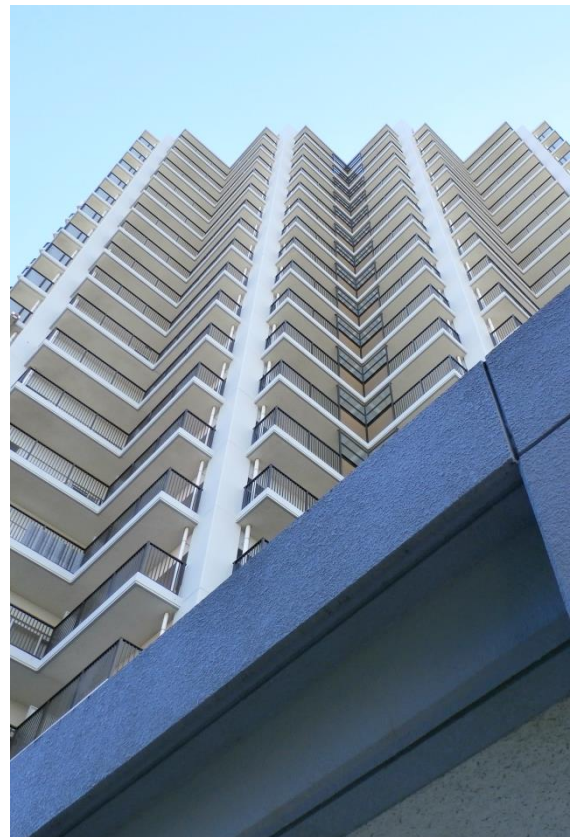
夕日が沈んだ後には・・・



そして夜空には三日月と木星がランデブー



これは「宵の明星」天然の美



人工物でもなかなか造形の美

では、ここらでちょっと一休み。

お疲れでしょう!!

ごゆっくり、気分転換してください。



御茶ノ水の「聖路加病院・ニコライ堂」あたりで休憩です



きれいなアジサイで視力も回復

こちらはご存知「バラ」の花。では、こちらは？ ⇒ ⇒ ⇒ 分りますか？ 「なんだっけ？」
と考える方は、下の写真をご覧ください。



そうです。「蕎麦」の花です。
千葉県富里市と佐倉市の境に自家栽培・自家製粉のお蕎麦屋さんがありました。

場所は忘れましたが、雨上がりの空にくっきりと虹が浮かびました。



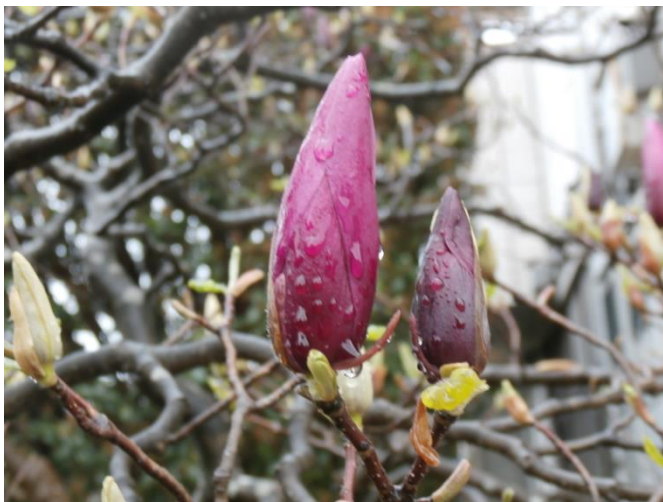
耕作放棄の荒れた畑に「コスモス」が綺麗に咲いていました。



季節感がめちゃくちゃですが

木蓮のつぼみって、なんか「なまめかしい」な～

一方、こちらは「華やいで」ます



お粗末さまでした。

それでは、休憩時間を終了します。

引き続きお付き合いください。

こちら茨城県、筑波山の遠望です

手前の桜の木の枝の間に



遥に望む筑波山もなかなか良いものです。



右側の道は大正から昭和、1987年まで運行した「つくば鉄道」が走っていた軌道跡です。
現在は整備されて、サイクリングロードに変身しました。
里山の景色も結構いいものです。



一気に冬の妙高山に飛びます

上信越線は上越新幹線が開通したため、第三セクター鉄道に格下されて「北しなの線」と名前が変わりました。この線は愛称が「妙高はねうまライン」と呼ばれていますが、地域の利用者からみれば「はねうま」どころか、不便な列車という事でしょう。JRは金の儲かる路線だけを維持して、「赤字路線」は地域の住民が困っても平気で廃線してしまいます。私が乗ったときは新幹線は工事中でしたので、まだ「上信越線」でした。この線は二本木駅で「スイッチバック」します。高低差のある路線を短い距離で上り下りするための構造です。

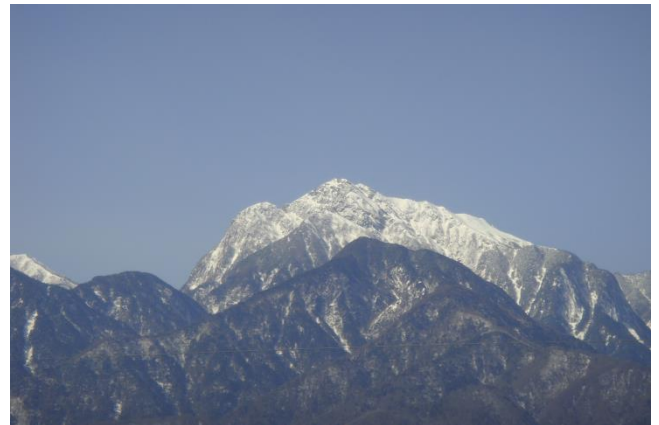
駅に入る前の車窓から雪の原に聳える「妙高山」を写しました。



同じく「妙高山」のアップ写真です。
なにせ光学7倍程度のカメラですので、これが精いっぱいです。



下の写真の山々の名前はわかりません。
南アルプスか中央アルプスだったとは思いますが。
でも、それぞれに思い出があったことは間違いありません。



皆さん、見覚えがありましたら教えてください。



これは間違いなく「**信濃川**」です

関越道「越後川口サービスエリア」内の展望台から信濃川を見下ろしました。

真冬の「**大内宿**」に到着しました。

この宿場町は現在も住民の方がお住いです。



こちらは「大内宿」入口、「かまくら」がお出迎え。



云わずと知れた豪雪地帯です。



「宿場」の中には仕舞屋も、松もなかなか。



私は完全防寒です。



会津若松では「鶴ヶ城」を見学しました。

南会津下郷村から西北西へ百数十キロ、ところ変わって「佐渡島」につきました。
そうなんです、島だろうとお声がかかれどこへでも行くのです。



両津港の岸壁にはこんなスローガンが。



フェリー発着場の前には民家が肩を寄せあっていました。



行きは「ジェットfoil船」1時間で到着。



帰りは「高速フェリー」ですが4時間かかります。



知ってました・・・？新潟港と両津港を行き来しているフェリーは海洋生物（クジラらしい）と何度も衝突してるんですって。ですからジェットフォイルでは、シートベルトを使用するようにアナウンスがあります。

東日本大震災の救援車両を宮城県仙台市まで徹夜で運びました。（2011年3月17日）


一般車両は通行止めですが救援車両は優先走行が許可されています。



ゴルフ練習場の鉄骨だけがひしゃげて残っていました

↑ 仙台東部道路の海側は何もありません。



東日本大震災の影響は全国まで広範囲に及びました。ここは、長野県飯山あたりです。この町の郵便局からも郵便集配の車を被災地に提供したため、車両が足らなくなり、 急遽レンタカーが配車されました。



私たち回送屋も夜を徹して車両の回送に奮闘しました。

屈指の豪雪地帯です。

「行け!!」と言われてればどこにでも行きます。たとえ、雪国の支度をしていなくても。

この日は、途中から須坂でしたか小布施でしたかへ急遽車を引き取りに飛ばされました。全くの無防備状態、関東の街歩きスタイルです。寒さに震えながら……短靴は雪にもぐってしまいます。



それでも、仕事は続きます。ここは関越道、越路付近でしょうか、除雪車の脇を走り抜け一路東京へ戻るのです。



辛い仕事ばかりではありません、天気の良い時も当然あります。ここは群馬県長野原町川原湯温泉です。



上の写真は「ハッ場ダム完成の際はここまで湖面になります」と表示された看板。



向こうに見える開削現場の下はダム湖に沈みます。今となっては、貴重な景色となりました。



ダム湖を跨ぐ道路の橋脚建設現場です。



これは川原湯温泉の源泉。今はダム湖の中です。

ここからは人の手が作った心に残る物シリーズです。



長野県上田市鹿教湯温泉の街はずれに「文殊の湯」があります。この露天風呂からの景色は絶景です。すぐ横の文殊堂へ行く橋には、屋根がかけられていて全国でも珍しいとのこと。



松本盆地に悠然と建つ城は、戦国の世に誘います
国宝「松本城」城壁の塗り替えが終わり素晴らしい姿です





マンションの中庭にあります。为什么呢？



左の写真の答えです。あそこが嘗ての土俵跡です



吉良邸に討ち入った47人の刺客が休憩した寺です

回向院境内には「ねずみ小僧次郎吉」のお墓があります



墓石の前の灰色の物、これも墓石、全国の香具師の皆さん方は、縁起を担いでこの墓石を少しづつ削ってお守りにしているそうです。夜分には人目を盗んで、その筋の方も削ってゆくとか



「おのおの方、討ち入りでござる」



埼玉県秩父市の「秩父神社」です。この神社は東照宮の彫刻に匹敵する彫り物がおさめられています。
 ここの「三猿」は「よく見てよく聞いてよく話す」日光の「見ざる聞かざる話さざる」の反対です。



鬼怒川の橋の上からホテル街に行く階段に大きな鬼の絵が。



千葉県飯岡の港です。

3・11地震の大津波でこの漁港は大変な被害を受けました。



「赤揃い」の甲冑、「六文銭」の旗印でおなじみ、真田一族の「上田城」郭の全貌がほぼ復元されました。ここで「関ヶ原」へ向かう家康の息子を、散々な目に合わせた真田親子の戦略は、目を見張るものがあります。「勇猛果敢」であるとともに「天下の知恵もの」と家康をして唸らせた名城です。





出羽三山の入口、「羽黒山」神社への登拝口にあるこの白木づくりの五重塔は国宝です。



この鳥居は「最上川」の中流「本合海」の近く、川の向こう岸にある「矢口神社」の入口として立っていますが、どうやって渡るのかは分かりません。



岩手県一関市と巖美溪の途中にある「達谷の窟毘沙門寺」です。磨崖の祠を使いお寺を建てたとの事。壁面には大きな磨崖仏の線刻画もあります。



宮城県鳴子から山形県に入る「中山峠」を越すところにある「封人の家」建物は作り変えられていますが、その昔、芭蕉と曾良が旅した「おくのほそ道」にも記された場所です。

鶴岡市羽黒町手向（とうげ）にある「三山合祭殿」鬱蒼とした杉林の中にどっしりと構えています。訪れたときは五月半ば、手前には残雪がありました。三山とは「月山」「湯殿山」「羽黒山」でこの祭殿を参拝すると三山のご利益が頂けるそうです。



同じく合祭殿の境内にある鐘楼で茅葺屋根を持つ鐘楼は全国的に珍しくまた千数百年も経っているということで、国指定の史跡とされています。

あつみ温泉近くの道の駅「しゃりん」といいます。ここからは日本海に沈む夕日が見事にみられると評判です。訪れた日は大雨で夕日見物どころではありませんでした。



山形県と秋田県の境にありますこの碑は、「日本のロケット発祥の記念碑」です。糸川英夫教授率いる、国産ロケット開発チームが、この砂浜で「ペンシル型ロケット」の初発射をしたところです。それから半世紀以上が経ち、国産の人工衛星も打ち上げる能力を持つ、巨大なロケットの発射が当たり前の世の中となりました。





「戦没画学生慰霊美術館 無言館」です。
二十歳そこそこの彼らは、あの戦争で命を落としました。
彼らが両親や兄妹あるいは恋人に残した手紙や遺品。
絵画の習作などが展示され「無言の内に何かを語りかけて」います。

「無言館」全景



福島第一原子力発電所」被災後「メルトダウン」をおこし広範な福島県民が避難を強いられ。
今でも塗炭の苦しみを背負って生きています。
苫小牧からフェリーで大洗まで帰る船中から写しました。



千住大橋のアーチ上部には右書きの「大橋」がありました。



これはどこかだったか忘れてましたが、「ウルトラマン」の映画作成の町とかのことで、商店街のアーケードにつるされていました。

いよいよお別れです。

ラストは「ハッと目をみはったり」「ほのぼのとした風景」です。

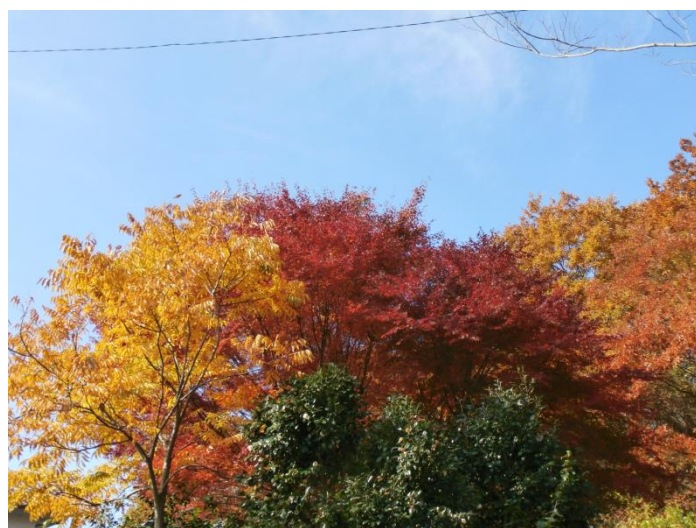
燃えるような紅に思わづシャッターを切りました



ここは、成田市のとある公園です

紅・橙・黄・緑、そして空の青

仕事とはいえ、旅の醍醐味です。



これも成田のとある公園の中です。素晴らしく晴れ渡った大空に、スックと枝を伸ばす樹木が素敵です



ところ変わって栃木県とちぎ市、「濠と蔵の町」が売りで映画のロケでも登場します

ここは伊勢原市、名もない小川です。時間待ちにはうってつけの場所です。



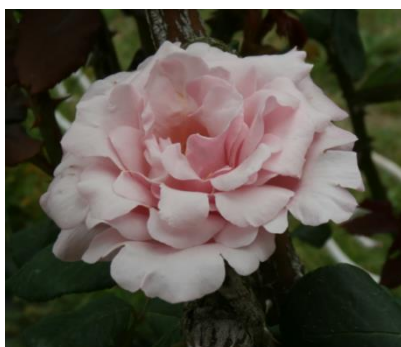
空を見上げると木の芽が膨らんでいます

足元で土筆が元気いっぱい背伸びをしています。

そして菜の花ではミツバチがせっせとお仕事。



お花続きでどうぞ、撮影場所はまちまちですが、撮りたくなりました。



秋です



「猫じゃらし」はどこにでも生えていますが、綿毛の隙間に秋の日差しがまぶしく光っていました。



クマザサもどこにでもありますが、これは所沢市の森林公園内です。



スギゴケです

今では廃線になってしまいましたが、JR 石岡駅から銚田線という路線がありました。その終点の銚田駅近くで彼岸花を見かけました。



これは自宅の全景です



お粗末さまでした。

お付き合いくださってありがとうございます。

又何かの折には投稿させていただきます。

よろしく願いいたします。